常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

紳士靴 婦人靴
スポーツ 用品服装
平 TEL77

「平市民の歌」決る

一等入選は福田氏

二十日市公会堂で発表会

平市では市民に郷土愛を持たせ、平市を象徴する「市歌」を制定することになり、平市教委事務局が主体となつて広く市民から募集していたが、遠くは福岡県、岡山県などから百五十三編の応募があつた。審査員諸橋久太郎、大泉信雄、鈴木寛一、山崎賢助、新妻勝男、坂本登、渡辺久の各氏によつて再三にわたる厳選なる審査を行つた結果、一等（賞金一万円）に平市大町三一北郷智夫氏（本名福田清弌）の歌詞が見事入選、二等（賞金五千円）には福岡市外古賀町庄区井上美樹氏、三等（賞金二千円）には岡山県倉敷市五日市町佐藤末治氏が入選した、なお作曲は音楽会の有名人に依頼することになつており、二十日平市公会堂で発表会を開くことになつている。

入選歌詞

（一）明けて夏井の水きよく
いらか伸びゆく街のいろ
人和すところまゆあげて
ゆかりの郷に呼びかわす
あゝ平和の光りさす都
わが平市に誇りあり

（二）映えて赤井の深みどり
仰ぐ理想のそらのいろ
地平につゞく産業は
生気溢れて日に進む
あゝ文化の華の咲く都
わが平市に栄えあり

（三）晴れて豊間の磯の香に
銀りんおどる波のいろ
大洋はるかみな勢い
世界と結ぶ夢あらた
あゝ希望の虹のたつ都
わが平市に恵みあり

秀逸に桑名君

成人式の入賞作文決る

平市教委事務局では成人の日を記念して本年成人になる男女から「成人の日を迎えて」と題して感想文を募集していたが、このほどの審査で次の各君が入賞した。◇秀逸作＝「責任とよろこび」桑原高志（平市才槌小路）「成人の日に寄せて」山森正代（平田町）◇佳作＝佐藤好昭（平市二丁目）松本久子（平市下平窪山之内）

中卒者に朗報

常磐 習技生二百名採用

炭況不振で採用中止していた常磐炭砿の習技生の採用は本年度から再開、中学卒二百名、高校卒専科三十名の採用をすることになつたこれは常磐炭砿従業員の子弟を採用するためにもうけられた制度で中卒二百名の採用は石城管内中卒者の二割を示めるもので、中卒就職の狭き門打開に明るい見通しを与へたものとして関係者を喜ばしている。

"大和舞" 十五日に披露

平市赤井のかくれた郷土芸術、"大和舞"を無形文化財に指定しようと平市教委事務局の音頭取りで来る十五日の「成人式」終了後盛大に披露公演を行うことになつたこの大和舞は今を去る二百五十年前の徳川中期ころ江戸から流れてきた能面師が伝えていつたものと云われている。この大和舞は「四方舞」「天地舞」「岩戸舞」「おし出しおかめ、ながしおかめ」「ろうそく舞」「大黒舞」「恵美寿舞」などに分けられており、二十人の人達によつて行われる一種の劇である。（写真は大和舞の一場面）

ポン所持女

内郷署は十三日、内郷市高坂町立野無職次田みつ(四三)を覚せい剤取締法違反で送検。

五市の議員連盟

革新系議員で結成へ

総合開発、市営バスなど多くの重要政策を抱えている石城五市の議会対策をはかり、市会の民主化政策等をかゝげて革新議員のリードで明るい市政をつくろうと平市議上坂昇氏、磐城市革新系議員が中心となつて五市議員連盟準備会を結成、活発な動きをすることになつた。

これは去る四月市議改選後各市の議員の話合いの機会をつくり横縦の連絡を緊密にして市会の民主化、議会対策などを中心に革新系議員の政策を強く打ち出そうとしていたもので総合開発グラウンド問題など各市とも三十一年度の重要政策とクローズアップされてきたので、急速に結成の準備になつたものでさし当つて石城五市だけで結成する計画になつているが、将来は各町村にも呼びかける方針である。

6日目取組

（カツコ内は勝敗）

西		東
前ノ山	（初　顔）	秀湊
神錦	（初　顔）	時錦
白龍山	（0—2）	出羽花
平鹿川	（初　顔）	芳野嶺
神生山	（初　顔）	大晃
島錦	（5—1）	広瀬川
吉井山	（6—0）	桜国
星甲	（0—2）	若羽黒
清水川	（3—3）	常ノ山
大天龍	（4—ヤ）	鶴ケ嶺
潮錦	（3—1）	二瀬山
清恵波	（3—10）	鳴門海
宮錦	（0—3）	出羽湊
若ノ海	（顔　初）	国登
泉洋	（0—2）	若前田
大昇	（6—7）	大起
大蛇潟	（4—6）	北ノ洋
琴ケ浜	（1—1）	安念山
玉ノ海	（5—0）	若葉山
双ツ龍	（3—3）	若瀬川
朝汐	（8—2）	羽島山
松登	（7—5）	時津山
成山	（1—7）	大内山
信夫山	（1—5）	若の花
栃光	（0—1）	鏡里
栃錦	（9—10）	三根山
出羽錦	（5—15）	吉葉山

（幕内以上）

今日松登と顔合せ

時津 不覚玉の海に敗る

大相撲初場所五日目の十二日優勝候補の一人横綱千代の山が突然休場した、また幕内で奮戦を続けていた鶴ケ嶺が国登に敗れたので、五日間勝ち放しは鏡里と若の花の二人だけとなつた。これで初場所の優勝候補吉葉も敗れ、時津また敗れたあと、千代の休場で無敗の鏡、若、更に一敗の栃錦、大内山あたりにしぼられ当場所前の予想とは大きく変つて来たわけだが、中でも時津、大内山などの好敵手と顔を合せずにすむ横綱鏡里の存在が大きくクローズアップされて来た。

今場所有力な優勝候補の一人にあげられその活躍を大いに期待された郷土力士時津山は初日成山に、五日目には玉の海の叩き込みに不覚の黒星を残して優勝から一歩後退したが、今後の健斗と上位陣荒れようではまだまだ有力候補の仲間入りもできそう。このへんで奮起一番郷土ファンの期待にこたえて慾しいものだ。

五日目玉の海の意外な叩き込みに余りにもアツケなく、立合い一瞬にして二ツ目の黒星を頂戴した時津は、今日六日目大関松登と顔を合せる。去る九州場所では両者の激しいブチかましから松登が負傷したいわくつきの顔合せ、猪突猛進両者のブチかまし合いは見ものだが、立合いに不覚をとれば弾丸松の好えさにもなりかねない。

米軍のラジオドロ捕る

常磐署は十三日、常磐市水野谷字龍方沢無職橋本四郎(三二)を窃盗の疑いで身柄送検した。去年の六月はじめごろ双葉郡河内村大滝根米軍基地のモータープール車庫から米兵所有の小型ラジオ一台八千百円相当を盗んだほか三件の盗みを働いていた

地下足袋 運動靴 長靴 袋屋本店

おことわり ラジオと映画案内は本日紙面の都合により休載致します。

天気予報
（今晩）西の風晴一時曇
（明日）南東の風晴からのちには曇となり晩には雨となる。
（海上）今晩は多少風波がある明日は遅くなつて風波が高くなつて来る。

父 **徳治** 儀かねて病気療養中のところ一月七日午前十一時死去致しました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んでお知らせ申上げます
追つて告別式は一月十六日午後二時自宅に於いて行います
昭和三十一年一月十三日
平市鍛冶町一三
喪主 山岡三男
親戚総代 手塚治
友人代表 蓮沼龍靖
〃 萩原義輔
〃 高橋亀雄松

母 **安田いし** 儀一月十二日午前十一時七十八才の高齢をもちまして死去いたしました
茲に生前の御厚誼を深く謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は来る一月十六日午後一時より二時自宅に於いて告別式を相営みます
昭和三十一年一月十三日
平市紺屋町八番地
喪主 安田庄三郎
友人代表 鈴木正男
〃 竹林貞吉
〃 蓬来信男

短期融資
◎迅速御相談に応じます◎
磐洋商事株式会社
平四 TEL532・1945

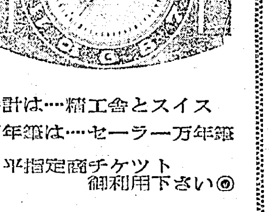
新鮮鶏卵 鶏肉 の御用なら!!
◎必ず御気に召す品が御手元まですぐ御届け致します
是非鳥半へ御用命下さい
各学校 病院 一流料亭 御指定
平市南町 鳥肉鶏卵商 鳥半 電一〇一九番

断然うまい
ヤマフル最上醤油
ヤマフル栄養味噌
塩屋 電10番へ

厚生医療指定病院
財団法人 竹林病院
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八一一番
分病棟 平市小太郎町十三番地 電話一二七四番

江戸川例年の通り
紅小路店 電一四五六
ちりなべ 御好みなべ 釜めし 浦焼
喰道楽 江戸川
江戸川江戸前寿司
才槌小路店 電一〇二一
料理 弁当 折仕出し

時計の御用命は



時計は…精工舎とスイス
万年筆は…セーラー万年筆
◎平指定商チケツト御利用下さい◎
山崎時計店
平市五丁目 電991番

平四 関内薬局 電四〇

新春多加楽市

14～16

成人の日をお祝して初春に放つニッコー独得の多加楽市

メリヤス肌着値下断行

一例
紳士高級メリヤス肌着（上下）各五〇〇円を…三八〇円
婦人〃〃〃　二六〇円を…二〇〇円
お子様〃〃〃　一七〇円を…一三〇円

ニッコーデパート
平駅前
電話 六五六 一七六四番

年新賀謹

泉農業協同組合
組合長 志賀漣
外組合員一同

植田農業協同組合
組合長 高木一郎
外組合員一同

山田農業協同組合
組合長 緑川好雄
外組合員一同

川部農業協同組合
組合長 田子浦次
外組合員一同

勿來農業協同組合
組合長 横山太一
外組合員一同

錦農業協同組合
組合長 鷲清章
外組合員一同

江名農業協同組合
組合長 作山豊七
外組合員一同

小名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫
外組合員一同

KK関彰小名浜支店
支店長 渡辺文彦

菅野米穀店
福島県勿来市植田町渋川

福島県鰹鮪漁業江名港協同組合
組合長 中田善三郎
外役職員一同

磐城通運勿来支店
支店長 赤津憲一郎
外職員一同

錦郵便局
局長 金成源右エ門
外局員一同

江名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長 小松敬次郎
外組合員一同

年新賀謹
局便郵浜名小
夫良沢白 局長
外局員一同

年新賀謹
団師医濱名小
会杏名

年新賀謹
局話電報電城磐
量新妻新 局長
外職員一同

年新賀謹
局便郵田植
夫克星 局長
外局員一同

謹賀新年
昭和三十一年元旦
磐城市校長会

賀正
明けましてお目出度う御座居ます
勿來市金融団

謹賀新年
昭和三十一年元旦
勿来市内校長会

賀正
謹しんで新春を御祝申し上げます
江名金融団

謹賀新年
昭和三十一年元旦
勿來市内医師会

賀正
年頭に当り初春のお慶び申し上げます
小名浜金融団

磐城市教育委員会
委員長 草野弘平
副委員長 門馬一
委員 佐藤貞吉
〃〃 佐藤信孝
〃〃 峯松宏多
教育長 高木長年

磐城通運株式会社
泉支店 支店長 小林重三
小名浜営業所 所長 野口源太郎
江名営業所 所長 大峯敏太郎

磐城商工会議所
平治平助
庄徳丈之
野成津木
草金池鈴
頭頭〃事
会会理
副〃務
専

小名浜臨港鉄道KK
社長 浦田文二郎
常務 真木弘
総務部長 小野信一

勿來市教育委員会
委員長 赤津修一
副委員長 小野保
委員 小野敏爛
〃〃 小野清春
〃〃 赤津千里
〃〃 小野吾一
教育長 阿部忠次郎